

ダイサギ（サギ科） 全長 88～98 センチ

神宮寺、岳見橋下流 300mの杉林にサギ類のコロニーがあります。

元々はアオサギとゴイサギの繁殖地であったが、遅れること数年後にダイサギも加わり、コロニーには賑やかな鳴き声が響き渡っている。

今の時期は子育ても終盤に入り、元気に巣立った雛は親鳥と共に近くの餌場へと移動しています。

全身が真っ白のダイサギ。しかしよく見てみると、背中にはふわふわしたレース編みのような羽があります。これは夏羽として見られる飾り羽で、アオサギにもありますが、ダイサギの方がより美しく見えます。



コロニーで繁殖するダイサギとアオサギ。

この綺麗な羽を撮影できないかと何回も挑戦してきたが、簡単ではありませんでした。

何日も通い続けると、体の後ろ側からふわ～と風が吹き付け、飾り羽だけが舞い上がった。待っていた瞬間でした。



風で背中中の飾り羽が逆立った。



レース編みの模様と似ている。

この様な美しい羽根を身に着けているダイサギであるが、鳴き声は「ガガー、ギャー」と聞こえ、相應しくないダミ声であった。



飾り羽にはどんな役割があるのだろうか。



入念に羽繕い。